

第8回 探究型学習研究大会

—— 探究の今とこれから ——

2024.11.9 (土) 13:00 ▶ 17:10

対面 + オンライン

対象 | 中学・高等学校教員、教育・NPO・自治体関係者

定員 | 対面:100名 / オンライン:250名 事前申込制・参加費無料 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

主催 | 東北芸術工科大学

後援 | 山形県教育委員会・山形市教育委員会・宮城県教育委員会・青森県教育委員会
秋田県教育委員会・岩手県教育委員会・福島県教育委員会

高等学校における「総合的な探究の時間」の全面実施から2年半が過ぎ、徐々に探究活動が学校の日常になってきました。各校におかれましては、生徒の主体性を引き出す伴走のあり方や、外部とのつながりをどのように広げるか等の課題と向き合いながら、各校の特徴を核とした探究学習を試みられているところと存じます。

2017年にスタートした探究型学習研究大会は、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための知を共有する場として、今年で第8回を数えます。これまで、「総合的な探究(学習)の時間」に関心を持つ多くの参加者が全国から集い、活発な意見交流を行ってきました。

今年度の研究大会では「**探究の今とこれから**」をテーマとして、**基調講演**および2校からの日頃の探究活動に係る**実践報告**の構成で実施いたします。はじめに、**文部科学省初等中等教育局主任視学官の田村学氏**より「**今こそ考える、『探究』の価値!**」と題してご講演をいただきます。続いて、**宮城県仙台第三高等学校**の渡部敦氏、**山形県立山形中央高等学校**の井上敦夫氏より、両校での特徴ある探究活動の取り組みをご紹介します。

上記の講演、報告を通して、参加者の皆様が探究型学習をより一層深化させていくための手がかりを掴む機会となりますこと、そして、本大会での知見を各校に持ち帰っていただき、共有、展開していただけますことを祈念いたします。

昨年度の研究大会の様子



本学探究型学習
協働プロジェクト
公式サイト



X(旧 Twitter)



Instagram

東北芸術工科大学では、「デザイン思考」を探究的な学習や課題研究に取り組む教育機関で活用できる考え方と捉え、山形県内外の中学校・高等学校と協働しながら、探究型学習のプログラム検討・授業連携等を行っています。

2024年度

第8回 探究型学習研究大会

テーマ | 探究の今とこれから

日時 | 2024年11月9日(土) 13:00 ▶ 17:10 **対面** + **オンライン**

プログラム

12:30 開場・Zoom開室

13:00 開会挨拶

13:10 基調講演「**今こそ考える、『探究』の価値!**」

▼ 講師：田村 学 (文部科学省初等中等教育局 主任視学官)

14:50 全国的に取り組みの進んできた「探究」については、各学校の教育課程の中核になるとともに、授業改善の鍵となる役割も担ってきている。また、人口減少などが進む地方にあっては地域活性化のきっかけとなったり、各自自治体のSDGs推進の一端を受け持ったりもしている。「生涯探究社会」に向かう中、改めて「探究」の価値を考えていく場としたい。

15:00 実践報告1「**探究的な学びを広げる学校を目指して**」

▼ 報告：渡部 敦 (宮城県仙台第三高等学校)

15:50 学校を取り巻く環境は大きく変化し、これまでと比べて社会とのつながりが重要視されるようになりました。また生徒の興味関心は、学校だけにとどまりません。探究活動を通じて得られた社会での学びは、生徒の成長を促す絶好の機会となります。こうした実践事例や、探究の土台となる教科や教科横断的な学びをカリキュラム・マネジメントの観点も踏まえてご紹介させていただき、皆さんと探究について学べる機会になればと思います。

16:00 実践報告2「**生徒の力を信頼し、生徒を放つ探究活動**

▼ **～山形中央高校コロナ禍4年間の実践を通して～**

16:50 報告：井上 敦夫 (山形県立山形中央高等学校)

2020年1月。私は山形県朝日町の小学校で「地域探究」に生き生きと取り組む児童たちに出会いました。「この児童たちが高校生になるまでに高校は何をなすべきか」。この問いを起点として試行錯誤してきたのが、コロナ禍4年間にわたる本校の実践です。今回は地域連携を重視してきた本校の実践を例とし、「地域探究」の可能性について皆さんと一緒に考えたいと思います。

17:00 閉会・諸連絡

申し込み方法

下記の申込フォームより必要事項を記入の上お申し込みください。

<http://sozo.tuad.ac.jp/information/1861.html>



申し込みメ切：2024年11月1日(金)

※参加希望の方で「日程が合わず参加が難しい」という方は、担当者までご相談ください。

※定員になり次第締め切らせていただきます。

※お申し込み受付後、参加に係る詳細をご連絡いたします。

会場までのアクセス

- ・路線バス：JR山形駅東口バスプール5番乗り場から「芸術工科大学」ゆき 約20分です。
- ・タクシー：山形駅から大学まで約20分、2,000円前後です。
- ・自動車：本学敷地内の駐車場をご利用ください。

お問い合わせ

東北芸術工科大学 TEL: 023-627-2139 FAX: 023-627-2081
〒990-9530 E-mail: y-gakusha@aga.tuad.ac.jp
山形県山形市上桜田 3-4-5 地域連携推進課 渡邊 康太 (受付:平日9:00-17:15)

講師紹介

田村 学 | Tamura Manabu

文部科学省初等中等教育局

主任視学官

新潟県公立学校教諭、上越教育大

学附属小学校教員、柏崎市教育委

員会指導主事、国立教育政策研究所教育課程研究

センター教育課程調査官、文部科学省初等中等教育

局教育課程課教科調査官、文部科学省初等中等教育

局視学官、國學院大学人間開発学部教授を経て

令和6年より現職。主な著書「思考ツールの授業」(小

学館)、「深い学び」(東洋館出版)、「深い学びを実現

するカリキュラム・マネジメント」(文溪堂)、「学習評

価」(東洋館)、「生活・総合資質・能力の育成と学習評

価」(東洋館)、「探究モードへの挑戦」(人言洞)など。



渡部 敦 | Watanabe Atsushi

宮城県仙台第三高等学校 主幹教諭

令和3年度よりSSH-授業づくり研究センター長として、

文部科学省指定の「スーパーサイエンスハイス

クール(SSH)」に取り組み、ユネスコスクール加盟校

としてESDを推進している。地域連携や学校間連携

等を進めながら探究活動を軸とした授業開発や研究

が学校全体で進められるよう、自身が担当してい

る授業も含めて、日々活動している。

井上 敦夫 | Inoue Atsuo

山形県立山形中央高等学校 教諭

2017年度に山形県立山形中央高等学校に赴任して

から、一貫して「総合的な探究の時間」を担当して

きた。2020年度には探究活動に取り組む「文理科

学部」を立ち上げ、顧問に就任。2021、2023年度

には「文理科学部」でボードゲームを活用し、地域探

究に取り組んだ生徒が「デザセン決勝大会」に進出

して入賞を果たした。現在も生徒が取り組む地域探

究に授業と部活動の両面で伴走している。

大会コーディネーター

柚木 泰彦 東北芸術工科大学 高大連携推進部長
プロダクトデザイン学科 教授

吉田 卓哉 東北芸術工科大学 教職課程 教授

寒河江 茂 東北芸術工科大学 教職課程 特命教授

渡邊 康太 東北芸術工科大学 地域連携推進課

MAP

